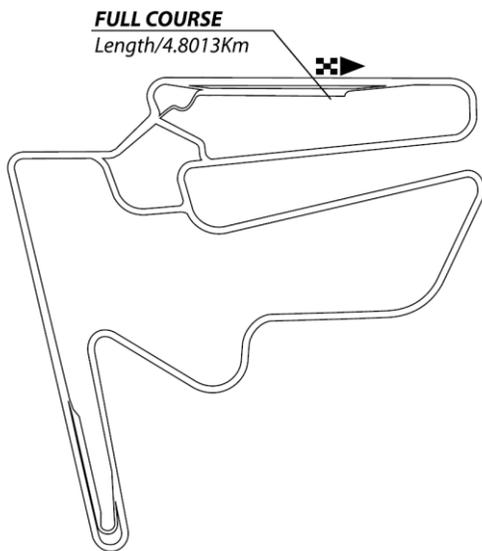


2020 S-FJ&F4 日本一決定戦

大会特別規則書



公示

2020 S-FJ&F4 日本一決定戦は、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)公認のもと、国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠したJAF国内競技規則およびその細則、ツインリンクもてぎ四輪一般競技規則書、ならびに本競技大会特別規則により準国内競技として開催される。

第1条 競技会の名称

○2020 S-FJ&F4 日本一決定戦

第2条 オーガナイザーの名称

○株式会社 モビリティランド

取締役社長:田中 薫

住所: 栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1 / TEL:0285-64-0200

○エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.)

会長: 高谷 克実

住所: 栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1 / TEL:0285-64-0202

第3条 組織委員会

委員長: 斎藤 英輝

委員: 高谷 克実、宮澤 謙作

第4条 競技会主要役員

競技会主要役員については公式通知に示す。

第5条 開催日程

2020年12月5日(土)・6日(日)

S-FJ・・・公式予選/トーナメント(第1レグ)/ファイナル

F4・・・公式予選/セミファイナル/ファイナル

※詳細な日程については公式通知に示す。

第6条 開催場所とコース

1) 開催場所: ツインリンクもてぎ

栃木県芳賀郡茂木町松山 120-1 / TEL 0285-64-0200

2) コース:ツインリンクもてぎ ロードコース フルコース 4. 801379km

第7条 開催種目

OS-FJ

OF4

第8条 レース区分、周回数、決勝出場台数

1) S-FJ 第1レグ…………… 6周 / 各組 30台(28.808km)

ファイナル…………… 10周 / 40台(48.013km)

2) F4 セミファイナル…………… 8周 / 40台(38.411km)

ファイナル…………… 15周 / 40台(72.021km)

第9条 参加申込

1) 受付期間:2020年11月6日(金)~11月16日(火) ※当日必着

2) 参加申込先: 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

株式会社モビリティランドツインリンクもてぎ

モータースポーツ課 レース事務局

TEL:0285-64-0200 FAX:0285-64-0209

3) 参加申し込みは下記書類に必要事項を完全に記入、捺印した上で、参加料と必要なMS共済会費を添えて提出すること。

(a) 参加申込書(誓約文署名と親権者承諾書を含む)

(b) MS 暫定共済会加入申込書およびピットクルー登録申請書(参加申込書裏面)

(c) 車両仕様書(使用部品登録書を含む)

4) 参加申込を郵送にて行う場合は、現金書留郵便にて大会事務局へ送付すること。

第10条 料金規定

1) 参加料: S-FJ・・・47,500円(税込)

※JAF各地方選手権S-FJチャンピオンは参加料が免除となる。

ただし、締め切り時点でチャンピオンが決定していない場合は、その時点の最多ポイント獲得者を対象とする。

F4 ……47,500円(税込)

2) 他の料金については、ツインリンクもてぎ四輪一般競技規則が適用される。

第11条 もてぎ・鈴鹿(MS)共済会

ツインリンクもてぎ一般競技規則が適用される。

第12条 ドライバーの資格

1) すべてのドライバーは有効な運転免許証を所持しJAFの2020年国内競技運転者許可証Aクラス以上を所持していること。(限定A含む)

2) 20才未満のドライバーは、参加申込に際し、親権者の承諾書と印鑑証明書(3ヶ月以内有効)を添えて提出しなければならない。

第13条 ピットクルー(メカニック)

ピット要員の登録はピット責任者を含み3名までとする。ただし、1名につき2,200円のピット要員追加登録料を添えて申し込みをしたチームは計5名まで認める。また、TRMC-S、SMSC

会員に未入会の者は上記2,200円に加え、別途共済会費500円を必要とする。

第14条 書類検査

日時:2020年12月5日(土)、6日(日)

※時間、場所については公式通知に示す。

1) 参加申込が正式に受理された参加者は、選手受付場所で、氏名登録されたドライバー、ピットクルーなどのクレデンシャルおよびピットサインマンの腕章など身分証明書が正式受理通知と引き換えに交付される。

2) 参加受付時下記書類を提示もしくは提出しなければならない。

(a) 正式受理通知書

(b) 参加者許可証

(c) 運転免許証

(d) 競技運転者許可証

(e) 賞金振込用紙

(f) TRMC-S/SMSC ライセンス(所持者のみ)

(g) その他必要な書類がある場合は参加受理書に示す

第15条 車両規定

1) S-FJ:2020年JAF国内競技車両規則 第1編 第10章スーパーFJ(S-FJ)規定に

合致した車両とする。

○タイヤに関する規定

①公式予選、第1レグ、ファイナルレースにて使用できるドライタイヤは、横浜ゴム株式会社より供給される「FIA バコード品」に限られる。

②ハンドカットによるタイヤの加工(溶剤の塗布を含む)を禁止する。

③公式予選、第1レグ、ファイナルを通じて競技会に使用するドライタイヤ

は1セット(前2本、後2本)の計4本のみとする。

④競技中のタイヤ交換は外的要因(バンク等)により競技長の許可を得た場合以外は認められない。交換した場合はペナルティを科す場合がある。ただし、横浜ゴム株式会社からの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合、1本のみであれば罰則を科せられることなく交換できるが、2本以上を交換する場合は、次に実施される走行セッション(第1レグまたはファイナル)は最後尾スタートとされる。なお当初のグリッドより3グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。この場合のタイヤ交換の申請に対する時間的制限は、公式予選および第1レグの各走行終了後30分以内とする。タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。

○車両交換等の禁止

公式車検に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される。やむを得ない事情で交換しなければならない場合、車両を除き、当該技術委員長ならびに大会競技長の承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り交換が認められる。ただし、公式予選および第1レグにて達成された当該エントリーのスターティンググリッドが失われることを条件とする。(最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる)なお当初のグリッドより5グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。また、この場合のエンジンおよびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選および第1レグの各走行終了後30分以内とする。

○ECUに関する規定

本大会においてはFJ協会の実施する検査に通過し、封印されたECUのみ使用を認める。必要によってはECUがシャッフルされ、与えられたECUを使用しなければならない。

○エンジンに関する規定

REUの製作した治具(カムプロフィール、ヘッドの厚さ、バルブ突き出し寸法)と内視鏡によるエンジン内部確認の検査を本大会期間中において行う事がある。参加者は本大会主催者およびFJ協会より検査を求められた場合は、拒否することはできない。

2) F4: 2020年JAF国内競技車両規則 第1編 第11章フォーミュラ4(F4)規定に合致し、F4協会が認定した車両とする。

○タイヤに関する規定

①住友ゴム工業株式会社が指定したタイヤを使用すること。

②ハンドカットによるタイヤの加工(溶剤の塗布を含む)を禁止する。

③公式予選、セミファイナル、ファイナルを通じて競技会に使用する

ドライタイヤは1セット(前2本、後2本)の計4本のみとする。

④競技中のタイヤ交換は外的要因(バンク等)により競技長の許可を得た場合以外は認められない。交換した場合はペナルティを科す場合がある。ただし、住友ゴム株式会社からの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合、1本のみであれば罰則を科せられることなく交換できるが、2本以上を交換する場合は、次に実施される走行セッション(セミファイナルまたはファイナル)は最後尾スタートとされる。なお当初のグリッドより3グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。この場合のタイヤ交換の申請に対する時間的制限は、公式予選およびセミファイナルの各走行終了後30分以内とする。タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。

○車両交換等の禁止

公式車検に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される。やむを得ない事情で交換しなければならない場合、車両を除き、当該技術委員長ならびに大会競技長の承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り交換が認められる。ただし、公式予選およびセミファイナルにて達成された当該エントリーのスターティンググリッドが失われることを条件とする。(最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる)なお当初のグリッドより5グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。また、この場合のエンジンおよびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選およびセミファイナルの各走行終了後30分以内とする。

第16条 FHR(HANS)システム

FIA国際競技規則付則1項第3章に定められたFHR(HANS)システムの装着が義務付けとする。

FHR(HANS)使用については、2020年JAF国内競技車両規則第4編細則レース競技に参加するドライバーの装備品に関する細則10.1に従うこと。

第17条 燃料規定

使用する燃料はツインリンクもてぎ第1パドック内給油所で供給されるものとする。
また、燃料に添加物を混入するなど、燃料の性質を変える事は禁止とする。
ただし、潤滑に必要なオイルの銘柄や仕様は自由とする。
※ガソリン性状表は公式通知にて公示する。

第18条 グループ分け(S-FJ)

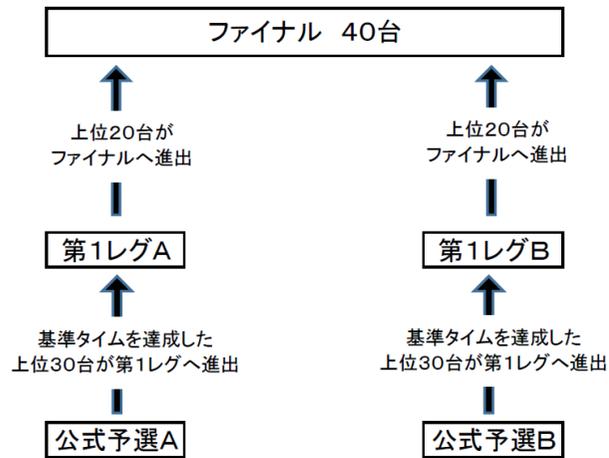
予選および第1レグのグループは主催者によってA組とB組に分けられる。

第19条 公式予選通過基準ラップタイム

- 1) S-FJ: 本大会公式予選における予選通過基準ラップタイムは、各グループの上位3台の最高ラップタイムの平均に30%を加算したものである。
- 2) F4: 本大会公式予選における予選通過基準ラップタイムは、上位3台の最高ラップタイムの平均に30%を加算したものである。

第20条 各トーナメント及びファイナルのグリッドについて

- 1) S-FJ 各トーナメント及びファイナルのグリッドについて
 1. 第1レグのポールポジションは、公式予選で最も速いタイムを出した車両とし、1コーナーに向かって左側をポールポジションとする。
 2. ファイナルのグリッドは各第1レグのトップ車両のレース時間(トータルタイム)を比較し、速い方のグループのトップ車両をポールポジションとし、そのグループを左側のグリッドとする。
 3. 予選通過台数、および第1レグ通過台数は下図の通りとする。



2) F4セミファイナルおよびファイナルのグリッドについて

1. F4セミファイナルのグリッド
 - ① セミファイナルのスターティンググリッドは、公式予選において各車両が達成した最高タイム順に1×1のスタッガードフォーメーションに配列される。ポールポジションは最前列左側とする。
 - ② 何らかの事情で公式予選が行えない場合は、抽選等の方法によりグリッドを決定する場合がある。
2. F4ファイナルのグリッドについて
 - ① ファイナルのスターティンググリッドは、セミファイナルの正式結果の順に1×1のスタッガードフォーメーションに配列される。ポールポジションは最前列左側とする。
 - ② 何らかの事情でセミファイナルレースが行えない場合は、抽選等の方法によりグリッドを決定する場合がある。

第21条 各トーナメント、ファイナル出場車両のコースイン

- 1) 出走前検査に合格した車両は、技術オフィシャルの指示に従い、西コースを1周して定められたスターティンググリッドにつかなくてはならない。
- 2) この1周の間にコース内でスタート練習及び著しく隊列をみだすことは禁止する。

第22条 スタート

- 1) グリッドは、1×1のスタッガード・フォーメーションで、スタート合図は灯火信号とする。

- 2) ① すべての車両はダミーグリッドへ向けてコースインしなければならない。(ただし、3分間をもって締切られる)
- ② 3分以内にピットアウトできなかった車両は、正規にスタートできなかったものとみなされ、ピットスタートとなる。ピットスタートは、ピットレーン出口で待機し、全車がスタートし、最後尾の競技車両がピットエンドを通過した後、競技役員の手合図又はピットレーン出口の信号機の緑灯を点灯することにより、スタートとなる。
- ③ フォーメーションラップ開始に先立って3分前、1分前および15秒前ボードが表示される。
 - 3分前ボード(グリッド閉鎖): 秒読み開始。ドライバー、オフィシャルおよび外部スターターを使用するチームクルー2名を除くすべての者はコースから退去する。コース上におけるすべての作業が禁止される。
 - 1分前ボード: ドライバーが車両内に着座したままエンジンを始動する。ついて、チームクルー2名がダミーグリッドから退去する。
 - 15秒前ボード: この合図の後、ダミーグリッド前で緑色旗が振られ、競技車両はスターティンググリッドの隊形を保ちながらポールポジションの車両のペースによってフォーメーションラップを開始する。この周回中の追い越しは許されない。全車がフォーメーションラップをスタートした後、ただちに全員がコースから退去しなければならない。
- 3) フォーメーションラップ中にスタート練習や著しく隊列を乱してはならない。もし乱れた場合には反則スタートとして罰則が適用される。
- 4) スタートできないドライバーは腕を上げなければならない。他の全車両がフォーメーションラップにスタートした後、オフィシャルは当該車両をトラック上で押してエンジンを始動することができる。ついて、この車両はフォーメーションラップを行なうものとするが、他の走行中の競技車両を追い越してはならない。
- 5) フォーメーションラップの際に、スタートできなかった車両およびスタート順序の位置を保てなかった車両は、グリッド最後尾からスタートすることができるが、その車両は本条 6) による赤ランプが点灯する前までにグリッドに停車していなければならない。万一、その車両が赤ランプ点灯するまでに停車できないと判断された場合、オフィシャルの指示に従い、低スピード(徐行)でピットに戻り前記2)②で決められている要領で、ピットスタートを行なうことができる。
- 6) 車両がスターティンググリッドに戻ったら、それぞれのグリッド位置にエンジンをかけたまま停車する。各グリッドの列番号を記したボードを持ったオフィシャルがグリッド各列に向かって立っており、その列の車両が停車したらボードをおろす。すべてのボードが降ろされたら、スターターはグリッドの静止状態を確かめ5秒前の赤ランプ点灯、4秒前、3秒前、2秒前、1秒前と赤ランプが続き、すべての赤ランプが点灯後、2秒から3秒以内に赤ランプが消灯しレーススタート。
- 7) スターティンググリッドに帰着後、後退ギアを使用してはならない。何らかの理由によりスタートできない場合は、当該ドライバーは両腕を頭上に上げ、その列担当の競技役員は黄色旗振動表示する。スタート不能のドライバーが原因となりスタートが遅延された場合、そのドライバーはピットもしくは最後尾からスタートすることができる。この場合、当該ドライバーの当初のグリッドは空けておくものとする。スタート不能のドライバーが複数の場合、グリッド後方の新しいポジションは、当初のスターティングポジションに基づき位置決められる。
- 8) 車両がフォーメーションラップを終了し、スターティンググリッドに着いたときに何らかの問題がある場合には下記のとおり処置がとられる。
 - ① まだ赤ランプが点灯していない場合は、赤旗が示され「START DELAYED (スタート遅延)」ボードがスタートラインに掲げられる。
 - ② 赤ランプ点灯後の場合は、黄ランプを点滅させ(赤ランプは点灯したまま)、「START DELAYED」ボードをスタートラインに掲げる。
 - ③ 前記①および②いずれの場合においても全車両のエンジンは切れ、スタート手順は3分前の時点から再開され、レース距離は1ラップ減らされる。
 - ④ スターティンググリッドの最後尾の車両がスタート不能となった場合は、前記①～③は適用されない。
- 9) 本条～8)を適用することが必要になり、スタート手順が何度くり返されようと、その結果どれだけレースが短縮されようと、各トーナメント・ファイナルは成立する。
- 10) 本条～8)の手順が1回以上必要となった場合でも、燃料補給は禁止される。
- 11) スタート後、スターティンググリッドにおいて作動不能となった車両がある場合、競技役員は直ちにエンジンをスタートさせるべくコースに沿って車両を押すものとする。数回の試みの後も当該車両が始動しない場合には、競技役員は当該車両をピットまで押して移動し(距離が近ければ、出口から入ることもできる)、そこでピットクルーが介入して始動させることができる。

第23条 燃料補給

公式予選、第1レグ、ファイナル中は、競技中の車両に対する燃料の補給は認められない。

第24条 賞典

OS-FJ

- 1) 第1レグ(A/B 総額12万円)
JSS賞: 1位 … 3万円 / 2位 … 2万円 / 3位 … 1万円
- 2) ファイナルレース(総額 102万円)

	正賞	JSS 賞	ファーストモルディング賞
優勝	トロフィー	30万円 + 大カップ	20万円
2位	トロフィー	20万円	10万円
3位	トロフィー	10万円	5万円
4位	トロフィー	9万円	2万円
5位	トロフィー	8万円	2万円
6位	トロフィー	7万円	2万円
7位	—	6万円	2万円
8位	—	5万円	2万円
9位	—	4万円	2万円
10位	—	3万円	2万円

3) ジャンプアップ賞

ファイナルレースにおいて、もっとも順位を上げたドライバーに賞金10万円が授与される。

4) レディース賞

ファイナルレースにおいて、もっとも順位を上げた女性ドライバーに賞金10万円が授与される。

5) レジェンド賞

ファイナルレースにおいて40歳以上のドライバーの中より、上位1～3位のドライバーに対して、以下賞金が授与される。
1位:10万円、2位:6万円、3位:4万円

6) ヨコハマ賞

ファイナルレースにおいて、優勝したドライバーに、「ADVAN ウィナージャケット」が授与される。

OF4

1) ファイナルレース

	正賞
優勝	トロフィー
2位	トロフィー
3位	トロフィー
4位	トロフィー
5位	トロフィー
6位	トロフィー

2) Hクラス表彰

H/パターントランスミッション搭載車両を対象にHクラスを設け、ファイナルレースでクラス別順位が1位～3位にF4協会よりトロフィーが授与される。

第25条 賞典の制限

予選参加台数が少数の場合は次のように制限される。

- 2台以下…………… なし
- 3台…………… 1位
- 4～5台…………… 2位
- 6～7台…………… 3位
- 8～9台…………… 4位
- 10～11台…………… 5位
- 12～13台…………… 6位
- 14～15台…………… 7位
- 16～17台…………… 8位
- 18～19台…………… 9位
- 20台以上…………… 10位